



2025年7月3日

各 位

会 社 名 売れるネット広告社グループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 加藤公一レオ
(コード番号：9235 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 植木原宗平
(TEL 092-834-5520)

売れるネット広告社グループ、アプリ広告市場への本格展開を加速！

「最強の売れるメディアプラットフォーム」アプリ媒体提携数が累計50件に到達！

～ 急成長市場におけるプレゼンスを確立、広告収益の新たな柱へ ～

売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：加藤公一レオ、東証グロース市場：証券コード 9235、以下 売れるネット広告社グループ）は連結子会社である売れるネット広告社株式会社が提供する主力サービス「最強のメディアプラットフォーム」においてアプリ媒体との提携数が累計50件に到達したことをお知らせいたします。

この成果は、当社が注力するアプリ広告領域における事業成長ポテンシャルが実証されつつあることを示す重要なマイルストーンであり、今後の収益拡大に向けた基盤形成として極めて重要な進展です。

■ 拡大を続けるアプリ広告市場と戦略的重要性

スマートフォンの普及、可処分時間のアプリ内集中を背景に、広告市場の主戦場はウェブからアプリ内広告（アプリ広告）へと急速に移行しています。

アプリ広告とは、スマートフォンアプリ内に表示される広告全般を指し、バナー広告・動画広告・ネイティブ広告・インタースティシアル広告などが代表的な形式です。ユーザーが日常的に利用するゲーム、ニュース、SNS、ツール系アプリの中で自然に表示されるため、高い視認性・エンゲージメント・成約率を誇ります。

国内では以下のような、大規模かつ実績豊富なアプリ広告媒体／ネットワークが高い認知度を持ち、市場を牽引しています。

- LINE Ads Platform (LINE アプリ内で展開される広告)
- SmartNews Ads (ニュースアプリ SmartNews 内)
- グノシー広告 (Gunosy、ニュースパス等)
- GameWith Ads / ゲーム攻略アプリ内広告
- Yahoo!アプリ広告 (Yahoo! JAPAN アプリや Yahoo!天気など)
- マイナビ系アプリ広告 (マイナビニュース、転職、バイト等)

こうした媒体で展開されるアプリ広告は、成果報酬型モデルとの親和性も高く、コスト効率に優れたチャネルとして多くの広告主から注目を集めています。

世界的に見ても、モバイルアプリ広告市場は 2024 年に約 3,500 億ドル (約 55 兆円) に到達し、2028 年には 5,500 億ドル (約 86 兆円) 超に成長する見込みであり、年平均成長率 (CAGR) は 10%以上という極めて堅調な推移が続いています。

国内市場においても、アプリ広告費は 2023 年に約 7,000 億円を突破、2025 年には 1 兆円規模に達する見通しです。特に Z 世代～ミレニアル世代を中心に、情報収集や購買行動がアプリ内へと不可逆的に移行しており、広告主にとって「アプリ広告」は今や“必須チャネル”となりつつあります。

このような市場構造の変化を背景に、アプリ媒体と高い柔軟性で連携可能な広告プラットフォームへのニーズが高まり、当社が提供する「最強の売れるメディアプラットフォーム」は、その期待に応える存在として急速に評価を高めています。

■ 独自アルゴリズムと UI/UX 設計が支える競争優位性

「最強の売れるメディアプラットフォーム」は、単なる ASP ではなく、広告主と最適な媒体を自動でマッチングする独自アルゴリズムを搭載。これにより、広告出稿のパフォーマンス最大化と ROI 向上を実現しています。

また、アプリ媒体側に向けては、レポート閲覧・報酬確認・提携管理が一元化された管理画面を提供しており、業界トップクラスの UI/UX 設計により、高い媒体継続率を誇ります。

これらの機能が、他社にはない利便性・収益性・継続性を実現する差別化要因となっており、今後のスケールフェーズにおける競争優位性の礎となっています。

■ 提携 50 媒体を突破、広告収益の柱へ

今回の 50 媒体提携突破により、当社の広告ネットワークはゲーム、ニュース、ツール系など多様なカテゴリに対応した出稿チャネルを網羅するに至りました。これにより、広告主にとってはリーチの広さと CVR (コンバージョン率) の高さを両立できるチャネルとして、また媒体社にとっては新たなマネタイズ機会の創出につながるパートナーとして、当社のプラットフォームが高く評価されつつあります。

今後は、中期的な目標として提携アプリ 100 媒体の突破を掲げ、さらに営業および技術面での投資を加速してまいります。具体的には、アプリ媒体に最適化した広告フォーマットの開発を進めるとともに、SDK (ソフトウェア開発キット) によるよりシームレスな広告配信体制の構築を推進。また、アプリのジャンルや

ユーザー属性に応じた**配信ロジックの高度化**も進行しており、広告効果の最大化を図ってまいります。

加えて、媒体社との長期的な協業関係を構築すべく、**収益分配モデルの最適化**や運用支援体制の強化にも取り組んでまいります。

これらの取り組みにより、当社は単なる広告配信プラットフォームにとどまらず、**アプリ広告市場における成長エンジンとしての役割を果たす存在へと進化**し、グループ全体の収益基盤を力強く支える事業へと拡大してまいります。

本件が当社連結業績に与える影響は現時点では軽微ですが、中長期的には業績および企業価値の向上に寄与すると考えております。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上